

2008～2009年度 IM 第8組報告

テーマ「Focus on Youngsters」



ホ ス ト 大阪東南RC (会長 田中研一)
日 時 2008年11月8日(土) 13:00～16:30
参加クラブ 大阪阿倍野、大阪阪南、大阪平野
大阪イブニング、大阪城南、
大阪咲洲、大阪住之江、大阪住吉、
大阪天王寺、大阪東南 (以上10クラブ)

登録者数 357名
参加者 269名 (来賓含む)

IM 第8組
実行委員長 **田中 義矩**
(大阪東南RC)

IM (Intercity Meeting) は、皆様ご承知の通り、当地区では地区内クラブを8組に分け、各組所属クラブが輪番制で、ホスト・クラブを務め、相互の親睦を図ると共にロータリー情報や奉仕活動、また識者による講演など、パネル・ディスカッション、ディベート方式、バズセッションなど様々な形式で運営され、会議終了後、簡単な交歓の場が設けられていました。

横山ガバナーは本年度のIMのテーマとして3つのテーマを挙げられました。第8組では、大阪東南ロータリークラブが担当することとなり、当クラブでは、年初から実行委員会を立ち上げ、開催日を2008年11月8日(土)と決め、テーマの選択に議論を重ねた結果、「子供たちに光のアタル」プロジェクトを考えることになりました。従来の形式ではなく、思いきった発想の転換を図り、かつ、若者に焦点をあてたテーマを選択することになった次第です。そこで、当ロータリークラブの実行委員会の選んだテーマは、“Focus on Youngsters” 「ストリートダンスを通じて若者文化への関心を」であります。実は、私自身、IM実行委員長として「ストリートダンス」をロータリークラブのIMのテーマに取り上げることに聊か戸惑いを感じましたが、実行委員会でのご討議に参加させて頂き、ストリートダンスについての偏見が解消されました。

ストリートダンスは創造性や感性を養い、またコミュニケーションと協調性が求められる若者の文化であります。2008年、大阪において「世界ストリートダンスコンテスト」が開催されました。大阪が今、ストリートダンスの分野で世界的に注目されています。ストリートダンスは新時代の大阪文化でもあり、大阪の活性化の一助にも繋がる可能性を秘めているのではないのかと考えます。

教育の場にも、文部科学省では新しい文化としての芸術スポーツと確認し、その後援を検討されているようです。

IMで各ロータリアンがストリートダンスの真髄に触れ、社会的偏見を払拭し、健全な考えのもと、懸命に自分たちの夢を形にしようと努力している若者たちの思いに光をあて、理解をし、手を差し伸べてやることも我々ロータリアンの役目ではないでしょうか。まさに、「夢をかたちに」「青少年に光を」であります。



大阪日日新聞 2008年11月14日 金曜日に掲載